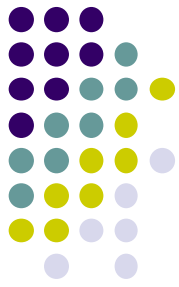




田沢湖の観光施策

伊藤瞬 進藤敬 佐藤安佑美
高橋美尋 細谷悦子

田沢湖観光の現状・課題



- 冬季観光客が少ない
- 観光地間のアクセス不十分
- 情報発信の不足
- 受け入れ態勢が不十分
- 日帰り、通過型の傾向

仙北市の重点施策



1. 魅力を伝える観光情報
2. やさしさを感じる受け入れ態勢
3. 冬の観光を元気に

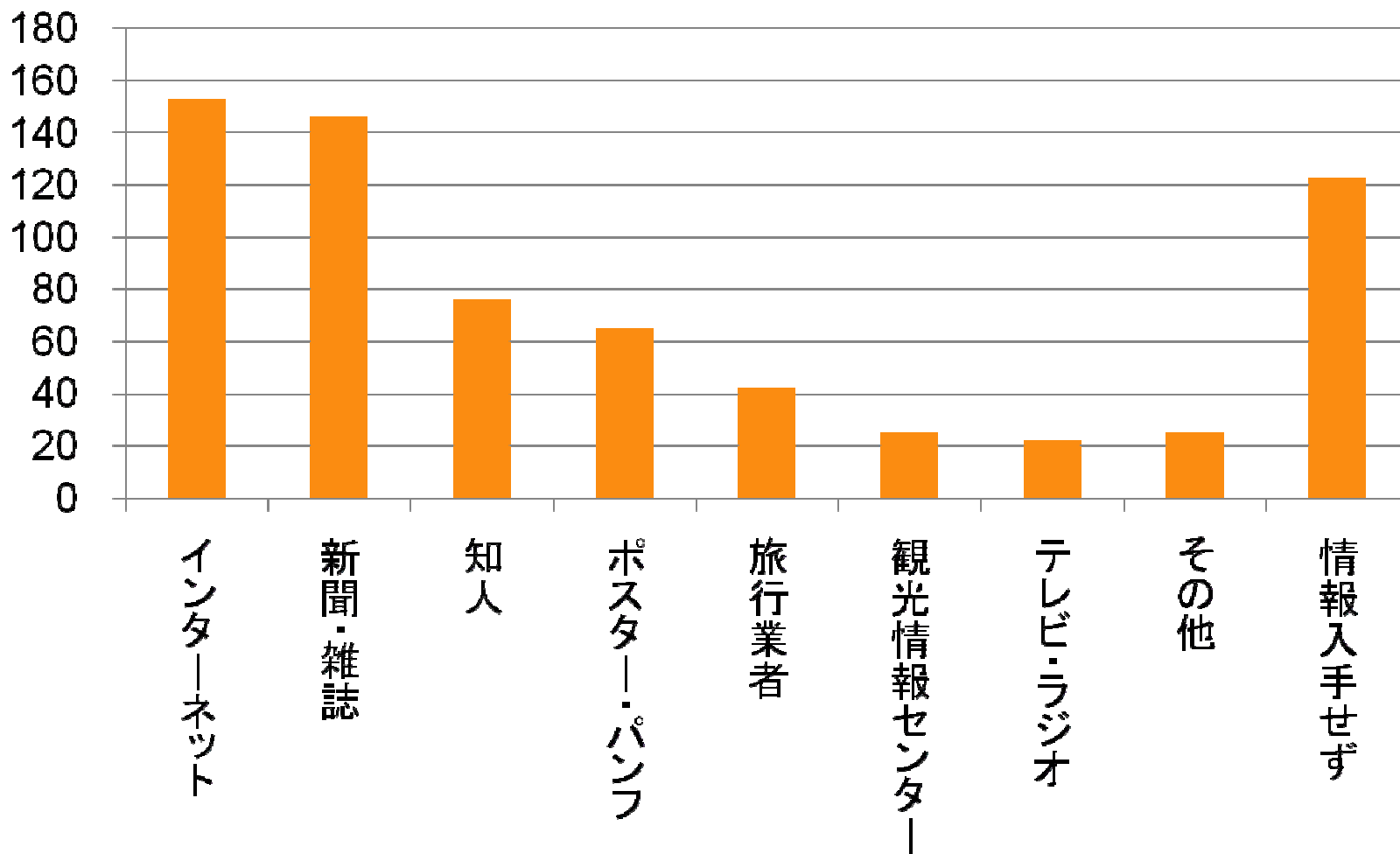


1. 魅力を伝える観光情報

- 国内の地方紙・旅行雑誌に記事広告を掲載
- 駅、コンビニ、GS、SAなど人通りの多い場所に
ポスター・パンフレット設置
- 年代・グループ別にモデルコースを作成
- キャッチコピー制作の委託・公募



観光情報の入手先





2. やさしさを感じる受入態勢

- 観光客が求める、秋田ならではの雰囲気づくり
湖畔・山村・マタギ・温泉街など
観光施設の外観や内装の統一
案内標識・看板・照明設備の見直し
- 安心して観光・散策できる遊歩道の整備
- 休憩場所の確保 椅子・休憩所の増設
- 特産品・飲食店の価格設定・品質に一定の基準

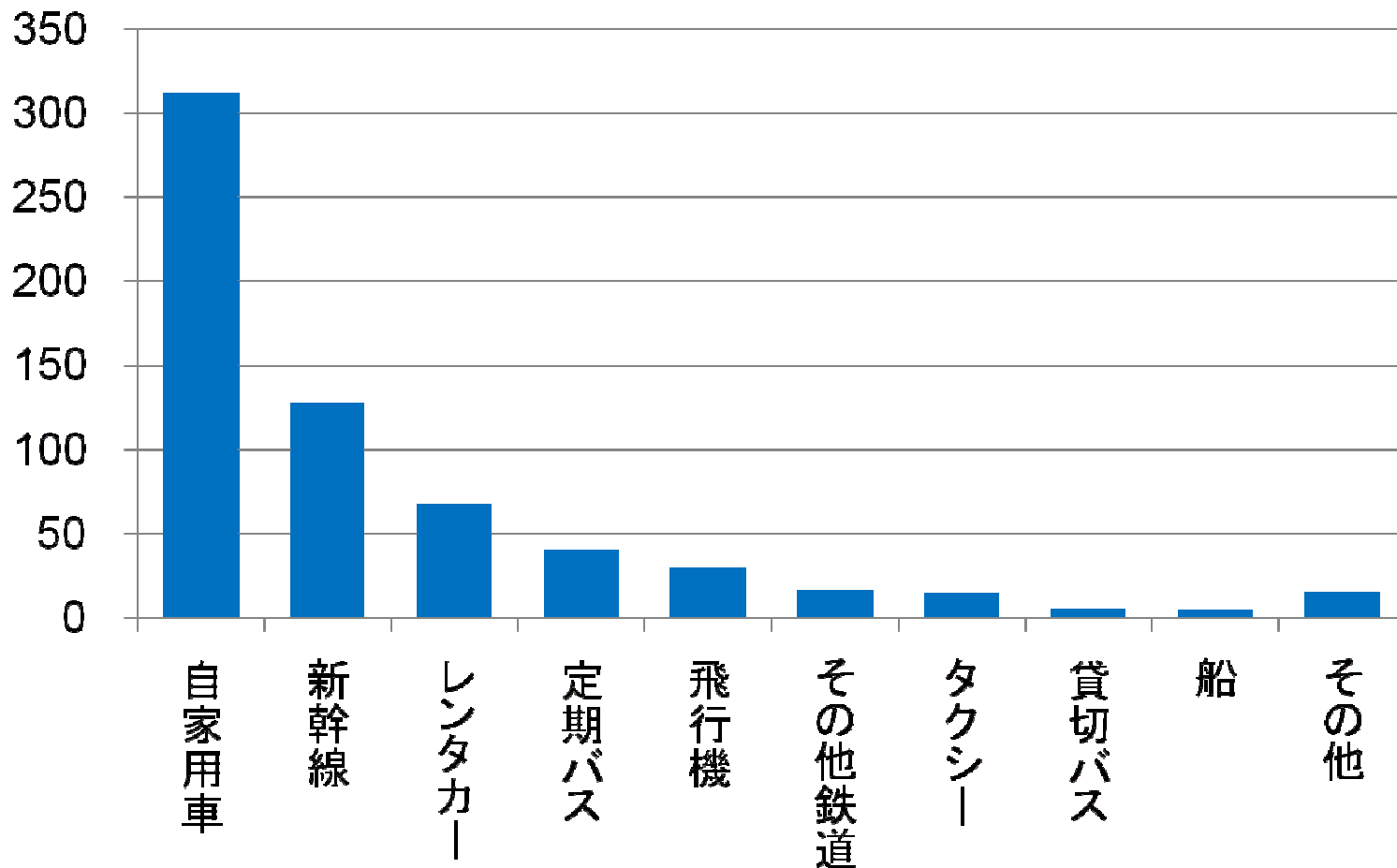
観光地としての信用 リピーターの増加



- 日帰りよりも一泊以上宿泊する観光客の方がより多くの収益を見込める。
- 一年を通して集客が期待できる「温泉」
- 国内在住の定年退職後の夫婦を対象に企画
- 高齢者にやさしい観光地をめざす
すべての人にやさしい街へ



観光客の利用交通機関





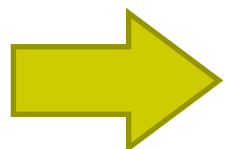
高齢者観光の先進地域

東和町(現・岩手県花巻市)の例

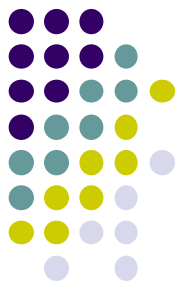
「健康と長寿の里」の創出

県の施策・・・当初は町民の健康を考えた施策

- 福祉先進地での研修を実施
- 厨房・リハビリルームなどの施設を
病院・保健センターと共用



「健康リゾート」へ・・・



健康リゾートへの展開

- 宿泊施設・・・食事の量・質に対する指向の配慮
- 目・耳・足腰の衰え・・・移動面と情報面での配慮
 - ・施設のバリアフリー化
 - ・案内表示を見やすく
- 従業員の高齢者対応の徹底
- 地元食材を使った良質で健康志向の食事提供
- 客室で町内の飲食店自慢の料理を頼める



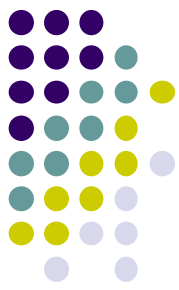
高齢者向けツアー

- 対象・・・定年退職後の夫婦・年配の親子連れ・少人数のグループなど。
- 時間的・金銭的に余裕がある。
- オフシーズン・平日の旅行が可能なので観光地の閑散期対策に利用。
- 「旅行者・高齢者にやさしい観光地」をアピール。



ツアー企画の特長

- 往復新幹線・宿泊券・バス乗車券をセットで販売
- 宿泊施設・交通機関・観光協会の連携で価格を下げる
- 時間にゆとりをもたせた日程
- 現地の専属スタッフが常駐する等、ガイド以外にもさまざまなサポートを受けられるようにする
(現地住民の雇用対策・高齢者の生きがい)
- 食事の質や量を高齢者に対応したものに

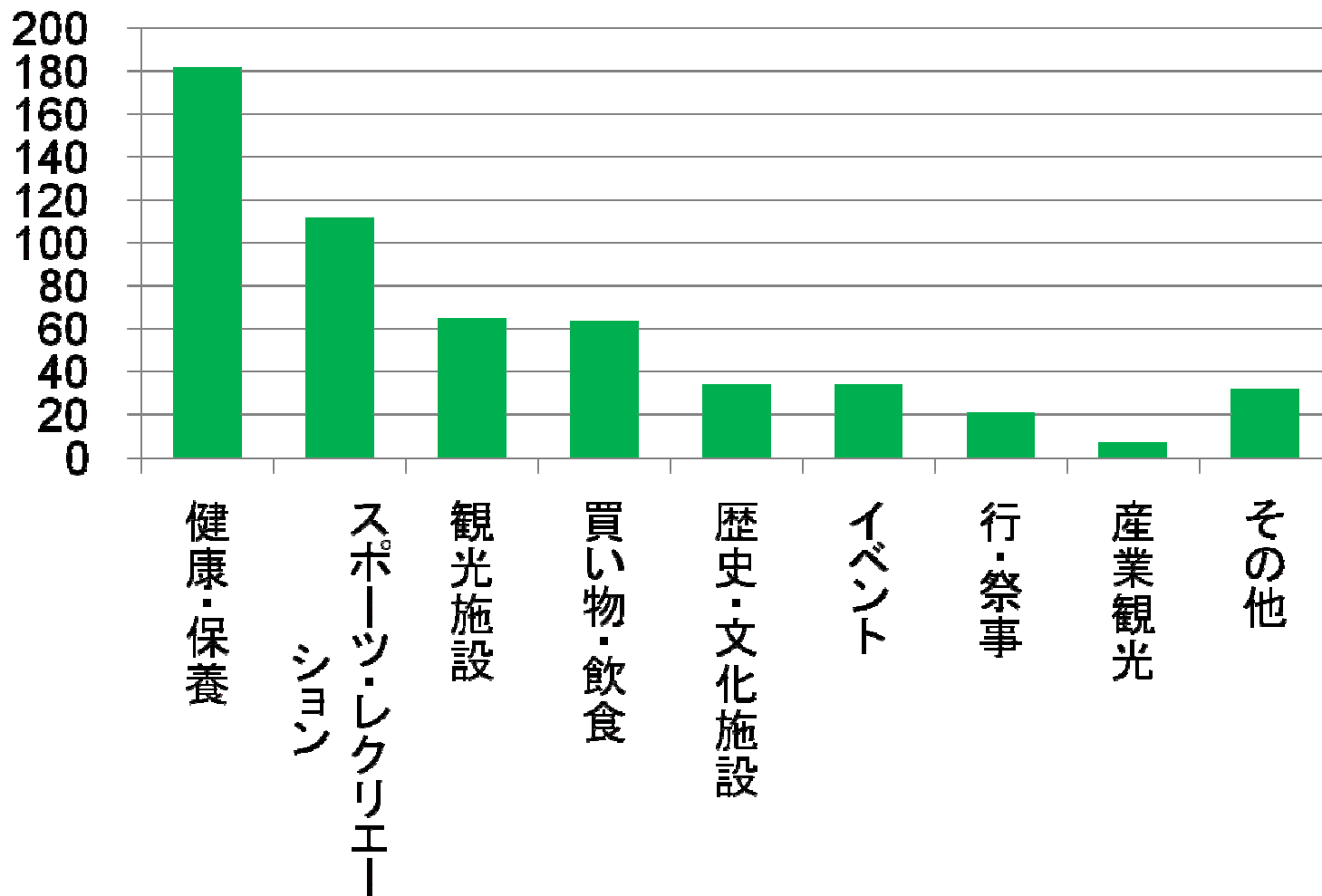


ツアーで受けられるサポート

- 車いす・押し車・シニアカーなどの貸出
- バス移動は一人2席の確保等、負担が少ないよう配慮
- 荷物預り所を各所に 手ぶらで楽に観光
- チェックイン・アウト時刻を調整できるようにし、宿泊時ゆっくり滞在できるようにする
- ツアー特典として高齢者限定の割引券を配布
- GPS配布: 現在地の把握や道に迷った場合
(利用者の家族にも安心)



旅行の目的





モデルコース

- 田沢湖駅到着
- 乳頭温泉郷
湯めぐり・食事・宿泊
- ツアールの森散策
きりたんぽ手作り体験
- 田沢湖周辺旅館宿泊
- 田沢湖遊覧船・昼食
- 思い出の潟分校見学
- 田沢湖駅



モデルコース

- 田沢湖駅到着
- 「たつこ像」「浮木神社」見学
- 「むらつこ物産館」見学・昼食
- 田沢湖遊覧船
- 田沢湖ハーブガーデン見学
- 乳頭温泉郷宿泊
- サボークルチャーパーク見学
- 刺巻湿原ミズバショウ
群生地見学
- 駅前物産館 田沢湖市



1日目

田沢湖畔到着（昼食・休憩）

遊覧船乗船、散策

田沢湖高原温泉郷宿泊

（アンケートで高評価を得た旅館、ホテル）

2日目

季節により、行程を変える

● 春：角館の武家屋敷

カラ吹き湿原

● 夏：かたまえ山森林公園

アユ釣り

● 秋：抱返り溪谷（紅葉）

● 冬：田沢湖高原雪まつり

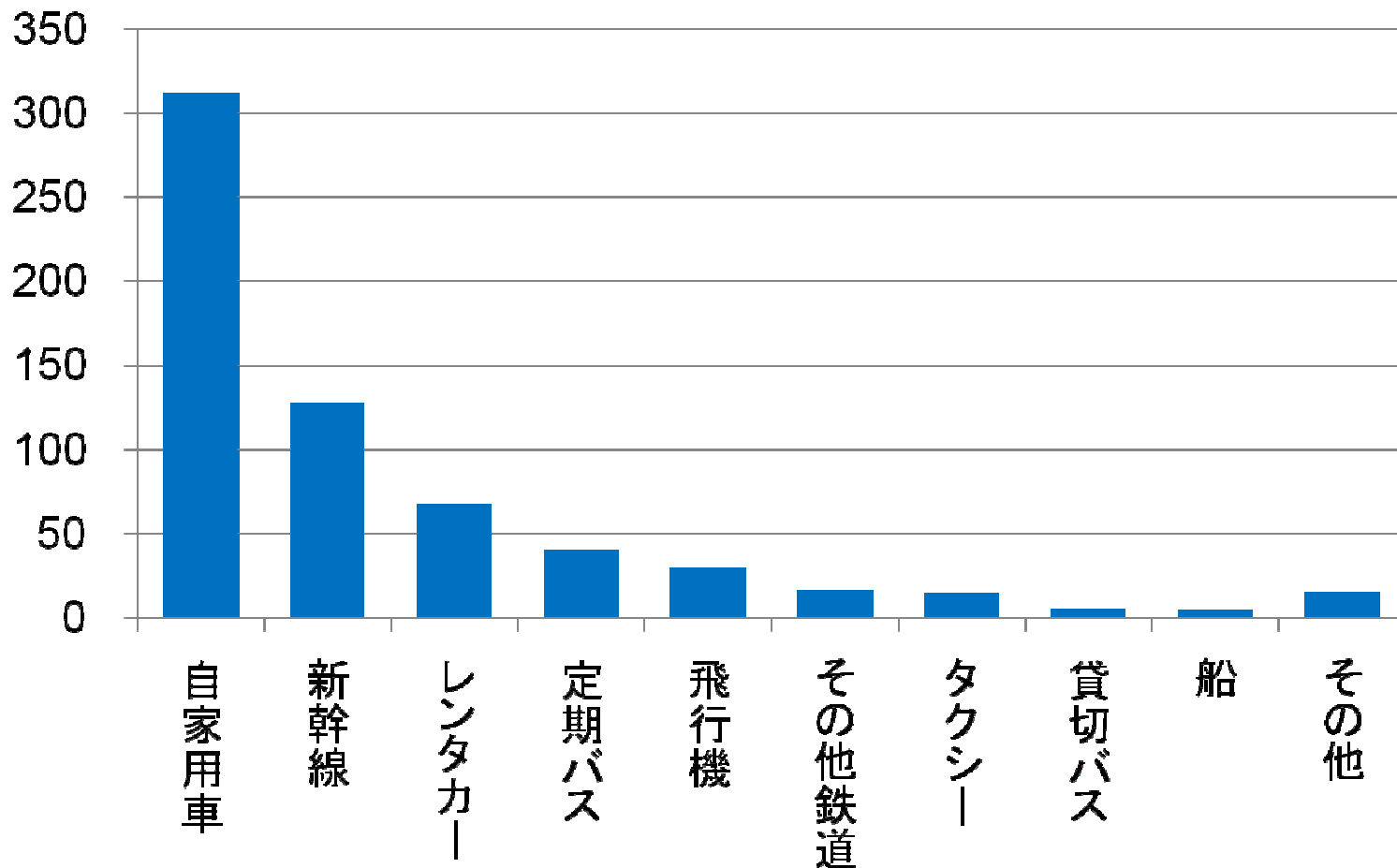


3. 冬の観光を元気に

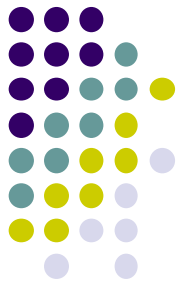
- 冬季に田沢湖で行われる祭りやイベントを雪の少ない地域で宣伝する。
- 冬に現地でしか楽しめない特産品の開発を行う。
- 安定した集客力のある周辺の温泉施設から集客できるコースを提案し広告を出す。
- 田沢湖と交通量の多い市町村にある観光施設とを関連させた施設づくりをする。



観光客の利用交通機関



交通基盤の整備 ～ デマンド型交通づくり～



- アンケート調査の実施
(観光施設と交通機関の利用状況)
- 観光客・地域住民のニーズを把握
- 観光とその地域を活性化させる交通インフラ



二次交通としてのデマンド型乗合タクシー



デマンド型乗合タクシー

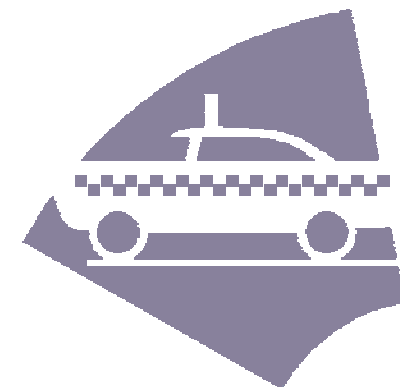
利用者が情報センターに電話

エリア内の乗降車地点を伝える

IT 処理で配車スケジュールを伝える

時間内に指定乗車場所に乗合タクシーが迎車

他の利用客と乗り合いで希望地へ





デマンド型乗合タクシーの特徴

- 路線バスと違い家まで来てくれるので、
- 自宅からバス停まで距離のある住民に対応
- 乗合性：従来のタクシーより低料金
- バスとタクシーの長所を兼備した公共交通
- 観光者・住民ともに利用の対象



観光と地域を活性化させる二次交通



期待できる効果

- 住民の生活交通の確保
- 利便性の高い公共交通サービス提供



財政支出の削減
高齢者の生きがい創出
商店街の活性化